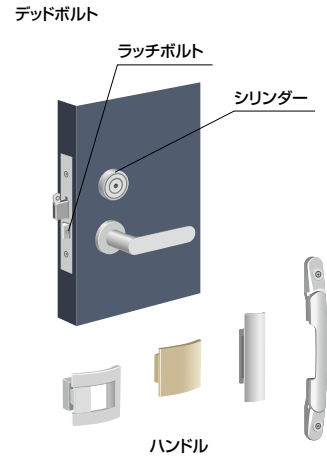


# 錠前の取扱い上のご注意・お手入れ方法

錠前を正常に、またいつまでも美しくご使用いただくために、よくお読みください。

## 錠前の取扱い上のご注意

- 錠前を掛けるとき、キーやサムターンをきちんと最後まで回してください。デッドボルト(かんぬき)が出て錠が掛かります。なお、ハンドルを操作して錠が掛かったことを確認してください。
- キーの抜き差しや回転操作が悪くなったら、鉛筆(2Bくらいの軟らかい芯)の粉や黒鉛粉、またはシリンダー専用潤滑剤をご使用ください。鉛筆を使用する場合は、キーのディンプル(くぼみ)を鉛筆でなぞった後、キーで抜き差しを数回行ってください。錠穴には絶対に油を注さないでください。注入直後はよくてもホコリを吸着し、かえって動きを悪くします。
- ディンプルキーのディンプル(くぼみ)に汚れが溜まる場合がございますので、定期的に軟らかい歯ブラシ等でブラッシングして汚れを取り除いてください。
- 錠穴に異物(例えば、針金、マッチ棒など)を入れないでください。異物が詰まると、キーの操作ができなくなります。
- 錠、ストライク、ハンドルの取付けねじに緩みが生じたら、ねじを締め直してください。
- 錠を分解、改造しないでください。中の部品(バネなど)が飛び出して思わぬ怪我をしたり、正しく組み立て直すことができなくなります。
- 経年変化により扉の垂れ下がり、反り、曲がり、歪みなどが生じて枠と接触し、錠がスムーズに動かない場合があります。扉全体としての修理が必要ですので、速やかに建築物の管理責任者、施工業者、または建具メーカーにご相談ください。
- 錠前のフロントやストライクの表面に保護シートが付いている場合は、必ずはがしてください。そのまま放置されますと、保護シートに付着している糊等の影響で錆が発生したり、変色することがあります。
- コピーしたキーを使用した際、キーの抜き差しや回転操作が悪くなる場合があります。シリンダーに悪影響をおよぼすことがありますので、当社の純正キーをご使用ください。
- キーに住所、建物名等の情報がわかる表示はつけないようにしてください。紛失した際に、悪用される恐れがあります。
- 錠前の表面には、傷をつけないようにご注意ください。傷の部分から変色したり、腐食する場合があります。
- 錠前は、雨水等の水滴が直接かかるような場所ではご使用にならないでください。製品寿命が短くなる場合があります。
- 集合住宅の共用出入口等で使用される「キーでラッチボルトを操作する錠」の場合、キーで扉を開閉するとキーヘッドまたは携帯器が破損する恐れがあるため、必ずハンドルで扉を開閉してください。
- Tebraをご使用の場合は、シリンダーの動作確認の為、定期的にキーによる施解錠を行ってください。



## お手入れ方法

清掃の目安は、少なくとも月に1~2回程度です。長期間、清掃しないままにしておくと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。いつまでも美しくお使いいただくために、汚れが軽いうちに清掃してください。

※特に、海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩害や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

## 製品の損傷、錆、腐食、変色等を防ぐために、次の点をお守りください。

### から拭き

やわらかい布でから拭きしてください。  
※ゴシゴシ強くこすらないでください。



### 水拭き

から拭きでは落ちにくい汚れの場合、水を含ませたやわらかい布をよく絞って拭いてください。  
※水拭き後は、から拭きをしてください。



### 中性洗剤を使用する

落ちにくい汚れの場合、中性洗剤を薄めた液で、やわらかい布、またはスポンジを使って洗い、その後、洗剤の成分が残らないように十分に拭き取ってください。

※サンドペーパー、硬いブラシ、またはシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。



## 錠穴の抜き差しがスムーズでない、または重いとき。

- 錠前専用の潤滑剤を錠穴に適量ご使用ください。



または、キーのすべてのディンプル(くぼみ)を鉛筆(先端の黒芯)でなぞるように黒く塗り、そのキーを錠穴に挿入して数回抜き差しをしてください。キーの抜き差しがスムーズになります。

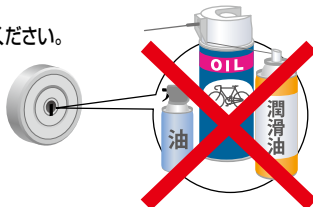


- キーの抜き差しがスムーズになりましたら、キーに付着している潤滑剤または黒い粉を布などで拭き取ってください。付着したまま使用されますと、衣服などを汚す場合があります。

## <お願い>

●錠穴に市販の合成潤滑油などを注油しないでください。  
錠穴に市販の合成潤滑油などを注油すると油がホコリを呼び、動きを悪くします。

●次のような場合は、錠取扱業者にご相談ください。  
・キーが途中でしゃく入らない。  
・キーが回らない。  
・キーが抜けにくい。



●お手入れに次のものは使わないでください。

- 酸性やアルカリ性の洗剤 (トイレ用洗剤や住宅用洗剤など)
- 漂白剤
- シンナーなどの有機溶剤
- 硬いブラシなど



※補修用品の保有期間は、商品の生産中止後の10年間です。

※補修方法および部品の供給方法は異なりますので、当社または錠取扱店にお問合せください。

# 取り付けの際のご注意

## 取り付けの際の注意(錠前編)

- ① 製品に同梱されている『取付説明書』を十分にお読みの上、施工を行ってください。
- ② 取り付けねじは、必ず製品にセットされている専用ねじをご使用ください。
- ③ 取っ手、エスカチオンの取り付けは、部屋内側に取り付けねじがくるように取り付けしてください。
- ④ スチール扉とアルミ扉の場合、取っ手の取り付け部分に補強材を入れてください。  
※扉に十分な強度がないと、取り付けねじの締めつけによる扉面たわみが発生し、錠が正常に作動しない恐れがあります。
- ⑤ インパクトドライバーは使用しないでください。  
※締め過ぎると、錠前の取り外しができなくなる恐れがあります。また、作動に支障をきたす場合があります。
- ⑥ 錠前は、雨水等の水滴が直接かからない場所に設置してください。  
※水滴が直接かかる場所でご使用された場合、製品寿命が短くなる場合があります。
- ⑦ 錠前を落としたり、ハンマーで叩くなどの衝撃を与えないでください。
- ⑧ 錠ケース内に潤滑油や異物を入れないでください。  
※錠ケース内の部品やグリース等に悪影響を及ぼし、作動不良の原因となることがあります。

インパクトドライバー  
**厳禁**



## 取り付けの際の注意(電気錠編)

### Tebra

電気配線工事は、「有資格者」が行ってください。

電気配線工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行ってください。誤った工事を行うと故障や漏電の原因になり、火事や事故につながります。

配線を挟まないようにご注意ください。

配線を折り曲げたり、傷つけたりしないようにご注意ください。配線の損傷は作動不良の原因となり、事故が発生する恐れがあります。(図1)

トロコケの上下方向のご注意

電気錠用(2ロック下部)のトロコケにはマグネット(白い樹脂部品)が内蔵されています。必ずトロコケ内のマグネットが上部になるように取り付けしてください。間違った取り付けをすると電気錠が正常に動作しません。(図2)

コンストラクション装置付きシリンダーのご使用上のご注意

コンストラクション装置付きシリンダーは下部側に取り付けてください。逆に付けた場合、電源が入った状態でコンストラクションキーで施錠すると、下側も施錠され、閉め出し事故につながる恐れがあります。

コネクタの取り付け時のご注意

コネクタは隙間が残らないように奥までしっかりと差し込んでください。コネクタがしっかりと差し込まれていない場合、正常に動作しません。また、コネクタが完全に隠れるように、防水テープを引っ張りながら(伸ばすように)しっかりと巻きつけてください。

屋内配線のご注意

通電金具に付属している配線は、200mm以下になるよう切断し、製品に同梱されている専用の扉内ハーネスを必ずご使用ください。

### Tebra

通電金具と操作電源盤(電源盤)の配線と結線のご注意

通電金具、操作電源盤(電源盤)間にはFCPEV0.9-2Pを配線し、結線図(図3)の指示の通りに結線してください。

操作電源盤/電源盤施工についてのご注意

容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。

通電状態では、結線作業を行わないでください。

施工中は、必ず操作電源盤/電源盤の電源スイッチまたは、室内ブレーカーをOFFにしてください。

図1

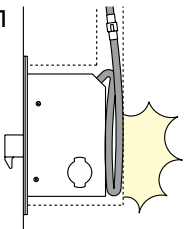


図2

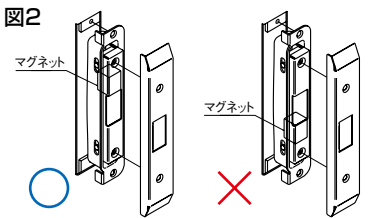
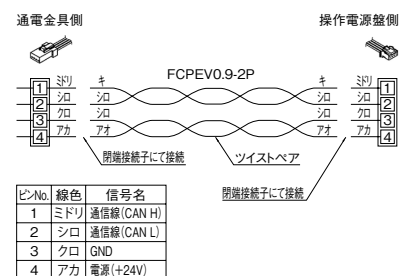


図3



# 電気錠の取扱い上のご注意

## 取扱い上のご注意

通線経路や扉内の配管に通線用のシリコン潤滑剤をご使用にならないでください。シリコンガスが発生し、錠ケース内部のスイッチに接点不具合を起こす恐れがあります。

### 電気錠の屋外使用について

1. 通常の場合、扉面に雨水が一時的にかかる程度で電気錠の不具合発生はありません。しかし、錠本体は水の侵入を防ぐ構造ではないので、以下について施工上または運用上の配慮をお願いいたします。  
錠本体や結線部が水没することがないように通線の結線部は防水に配慮し、扉下部・枠下部には水抜き坑を設けてください。  
開扉時、扉上部に雨がかからぬよう設置をお願いします。雨が直接扉内部に侵入するような扉上部が開いた扉は使用しないでください。扉上部の雨よけは必ず設置してください。
2. 屋外に面した扉で電気錠を使用する場合、実行耐用年数が短くなりますので予めご了承ください。

# Tebra・LEADの取扱い上のご注意

## 取扱い上のご注意

### 植込み型心臓ペースメーカーを装着されている方へのご注意

植込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、下記製品から各表示距離以内に装着部位を近づけないようにしてください。製品から出る電波が植込み型心臓ペースメーカーに影響を与える恐れがあります。詳しくは医師にご確認ください。

#### 【電波を使用している製品】 【距離】

・Tebra, LEAD(リードシステム) —— 22cm以上離す

### 設置される電波環境のご注意

Tebraは電波を使用しているため一部の施設や製品から出される電波の影響を受け、Tebraのリモコン操作の作動範囲が著しく狭く(短く)なる場合があります。詳しくは、当社営業担当にお尋ねください。

#### 【影響を受ける恐れのある施設や製品】

空港・携帯電話基地局・高圧線・テレビ塔・電車の架線・工事現場・交通量の多い場所の近く。  
電波を使用または発生している機器の近く。

### JEM-A端子のご使用上の注意

当JEM-A端子は、電気錠の動作特質および防犯上の理由により、基準に準拠しない部分があります。運用上ご注意くださいか、または制御器側で設定緩和いただく等の対応をお願いいたします。

・制御入力後のモニタ信号の返信は1～5秒後です。錠種・扉の具合により大きく変動いたします。

・JEM-A規格上では、「制御後350ms以下での応答をモニタに返す」に対して、電気錠制御器のJEM-A端子のモニタ信号は、正常動作時であっても約1秒を超えての返信となる場合があります。モーター錠との接続の場合、その動作が1秒程度かかることと、防犯目的の機器のために先行して、疑似信号を返す処置はなされないことにより正常動作時でも規格には準拠しないモニタ信号になっています。

・モニタ信号の出力タイミング以外の仕様は、規格に準拠しています。

・機器間のJEM-A接続用ケーブルおよびコネクタは付属しておりません。制御器側での手配をお願いいたします。

### 停電した際のご注意

電気錠は停電時の状態を保持します。停電が回復しても状態は変わりません。停電中は電気的操作はできませんが、キーサムターンでの施解錠は可能です。また、警備セット出力も停電前の状態を保持します。

### Tebraの取扱い上のご注意

・Tebraでは、Tebraキー/タグの揺れを検知している場合のみ各操作が可能になります。Tebraキー/タグが静止していると各操作が行えませんので、少し揺らすようにお使いください。

・精密な電子部品を使っていますので、分解したり改造したり強い衝撃を与えたりしないでください。

・Tebraキー/タグの電池は電池切れにならなくても2年ごとに新しい電池と交換してください。電池の液漏れや腐食による故障の原因となる場合があります。

・Tebraキー/タグは、水に濡らしたり、濡れた手で扱わないでください。

・はじめにTebraキー/タグに内蔵されている電池は、動作確認用のため寿命が短い場合があります。はじめにお使いになる前に電池交換されることをおすすめします。